

平成26年度決算(案) 説明資料

フコク生命グループの経営戦略	．．．．．	P1	健全性の状況	．．．．．	P8
平成26年度決算のポイント	．．．．．	P2	資産運用の概況	．．．．．	P9～P10
フコク生命グループの販売戦略	．．．．．	P3	オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール	．．．	P11
保険業績の状況(2社合算)	．．．．．	P4～P5	平成26年度決算(案)にもとづく社員配当金	．．．．．	P12
保険料等収入の状況(2社合算)	．．．．．	P6	(ご参考)主要業績	．．．．．	P13～P16
基礎利益の状況(2社合算)	．．．．．	P7			

平成27年5月28日

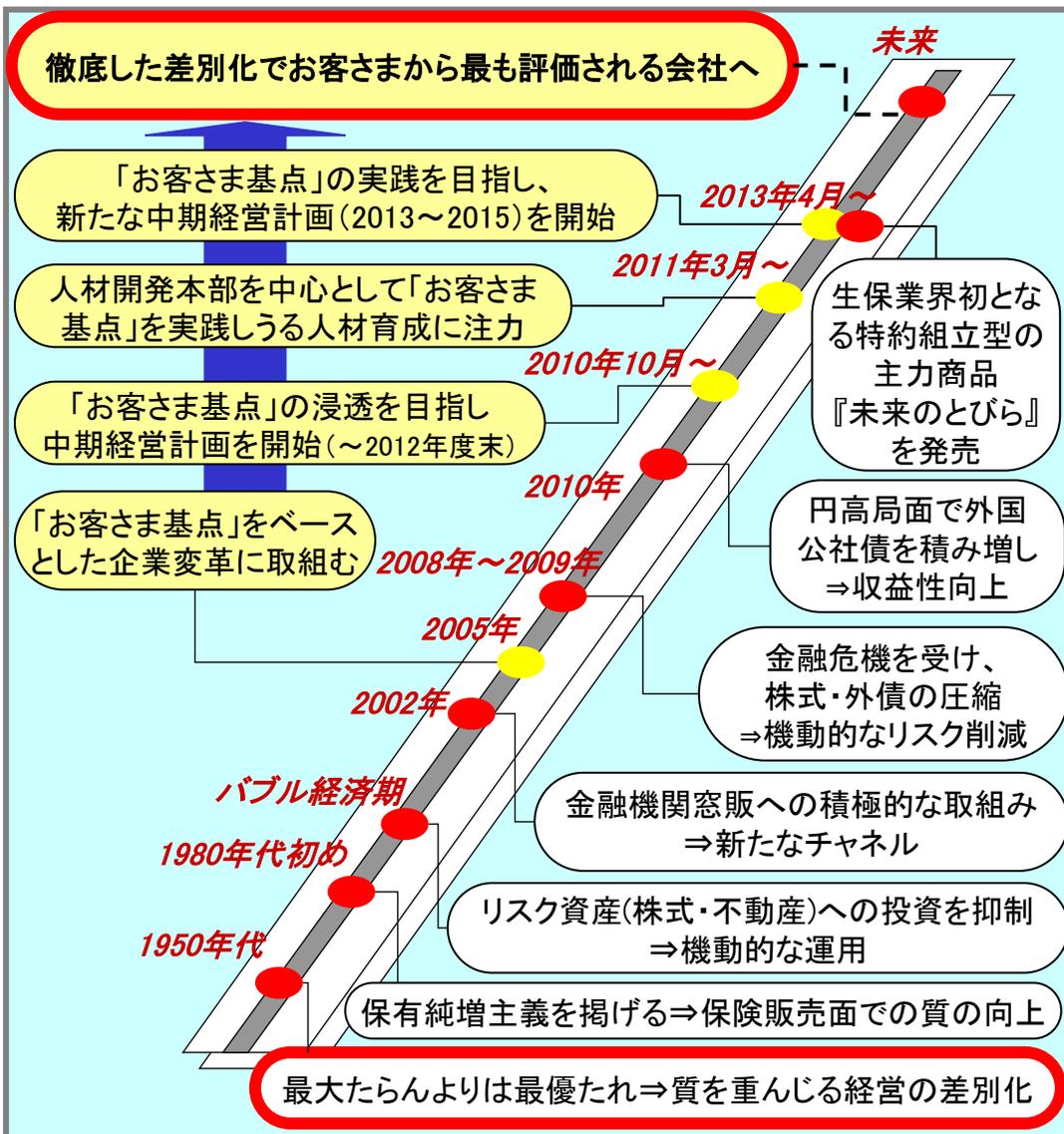
富国生命保険相互会社

すてきな未来応援します

フコク生命

フコク生命グループの経営戦略

経営の差別化の歴史と「お客さま基点」に向けた取り組み



『人づくり』について ～お客さま基点の実現に向けて～

お客さま

Face to Face の活動を通じ
『お客さま基点』を実践

営業職員体制の中核を担う層の拡大・強化

『お客さま基点』を実践しうる
お客さまアドバイザーの育成に注力
⇒人材開発本部の設置(2011年3月～)

営業職員チャネルと金融機関窓販チャネル の二本柱

すてきな未来応援します

フコク生命



フコクしんらい
smart life partner

営業職員チャネル
官公庁をはじめとした
職域販売を中心に展開

金融機関窓販チャネル
地域密着型の信用金庫
を中心に展開

平成26年度決算のポイント

新契約高2年連続増加

- ◆ 2社合算の新契約高は、貯蓄性商品に対するニーズの高まりを背景にフコクしんらい生命の金融機関窓販が増加したことなどにより、前年対比1.9%増加の1兆8,807億円
- ◆ 新契約高の前年対比増加は2年連続

増収(保険料等収入)増益(基礎利益)を確保

- ◆ 2社合算の保険料等収入は、富国生命およびフコクしんらい生命ともに好調に推移し、前年対比12.6%増加の7,964億円
- ◆ 2社合算の基礎利益は、富国生命の利差益が大幅に増加したことなどにより、過去最高の959億円(前年対比6.4%増加)

連結ソルベンシー・マージン比率1,195.7%

- ◆ 連結ソルベンシー・マージン比率は、危険準備金の積み増しやその他有価証券の評価差額の増加などにより、前年度末比75.7ポイント上昇の1,195.7%となり、事業年度末としては過去最高

3年連続増配、社員配当平衡積立金を積み増し

- ◆ 上記を踏まえ、お客さまへの配当還元も積極的に取り組むこととし、3年連続で増配を実施。加えて、社員配当平衡積立金を161億円積み増し
- ◆ 今後も配当還元を通じ、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図る

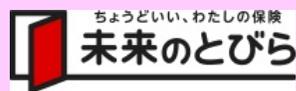
フコク生命グループの販売戦略

営業職員チャネル

- ✓ お客さま一人ひとりのニーズに沿った最適なご提案
- ✓ お客さまアドバイザーによる Face to Face のコンサルティングセールスの実践

主力商品

ご提案ツール



金融機関窓販チャネル

- ✓ 地域密着型の信用金庫を中心とした保険販売
- ✓ フコク生命グループとして保険販売のみならずアフターサービスまでを含め総合的にバックアップ

お客さまの多様なニーズにお応えする販売体制

- お客さま基点のもと、健全性の維持および持続的な成長を志向
 - ⇒収益性の高い死亡保障と第三分野の販売を推進
 - ⇒貯蓄性商品は運用環境に応じた販売政策を実施

保険金額ベースの業績

保険料ベースの業績

指標

新契約高
保有契約高

新契約年換算保険料
保有契約年換算保険料

特徴

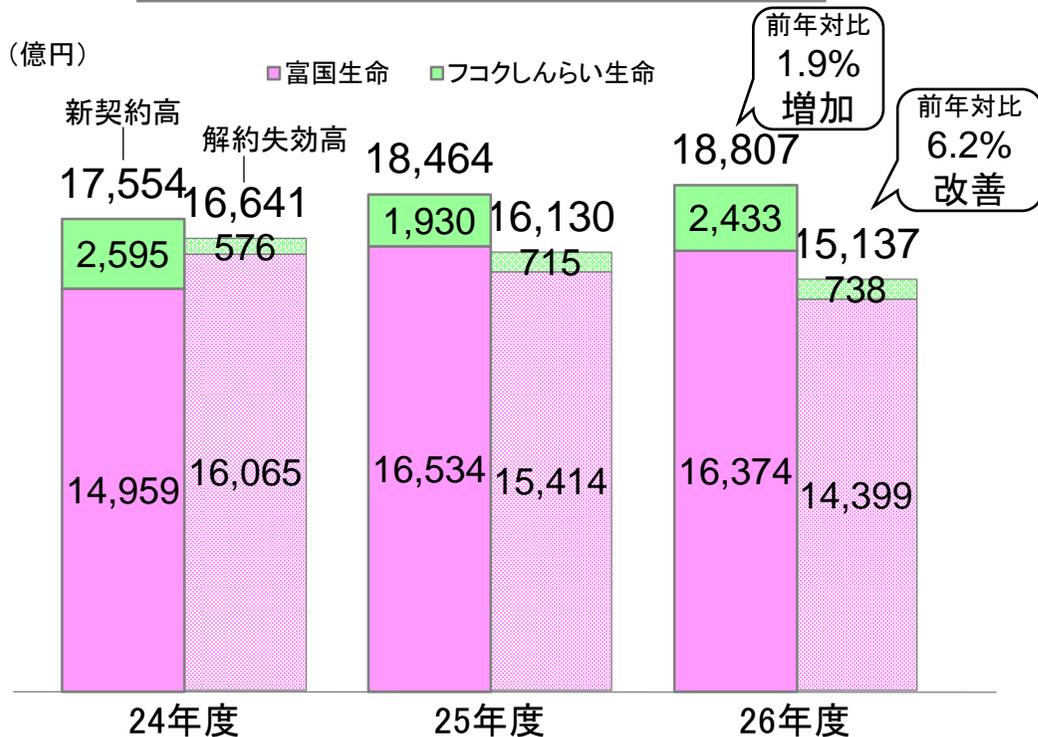
死亡保障商品を中心とした見方、第三分野商品の評価には適さない

第三分野商品の評価に有用、貯蓄性商品の影響を大きく受ける点に留意

- 収益に結びつかないトップライン競争ではなく、保険販売におけるグループの経営指標として、保険金額ベースと保険料ベースの両方を重視

保険業績の状況(2社合算) ～新契約～

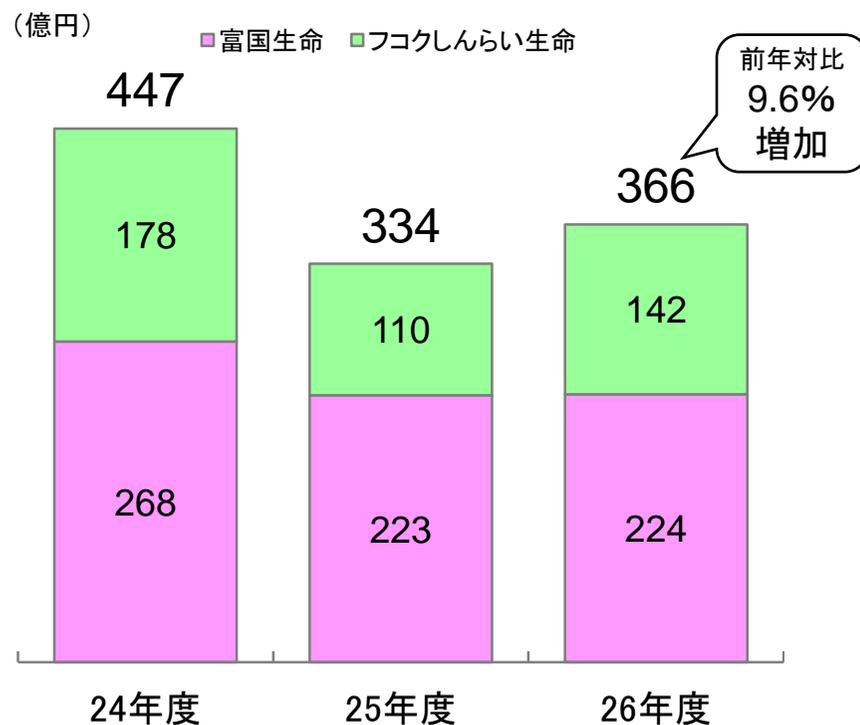
新契約高・解約失効高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



※個人保険と個人年金の合計

- 新契約高は2つの販売チャネルの効果的な活用が奏功し、2年連続の増加
- 解約失効高は前年対比6.2%減少し、大きく改善

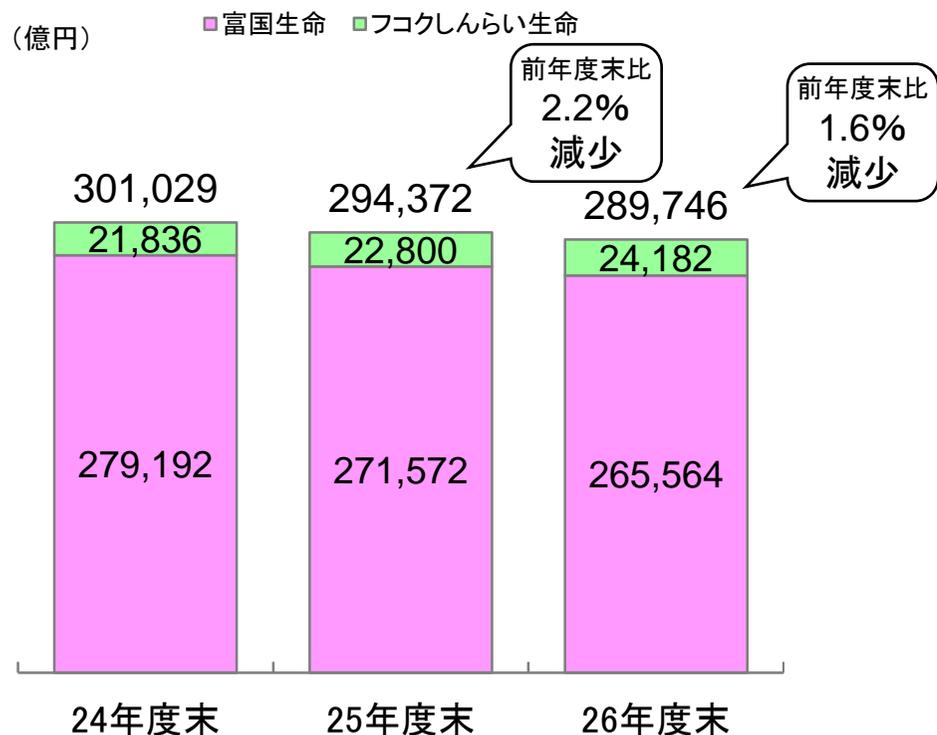
新契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 新契約年換算保険料は、相続税法改正に伴う一時払終身保険のニーズの高まりを背景に伸展し、前年対比9.6%増加

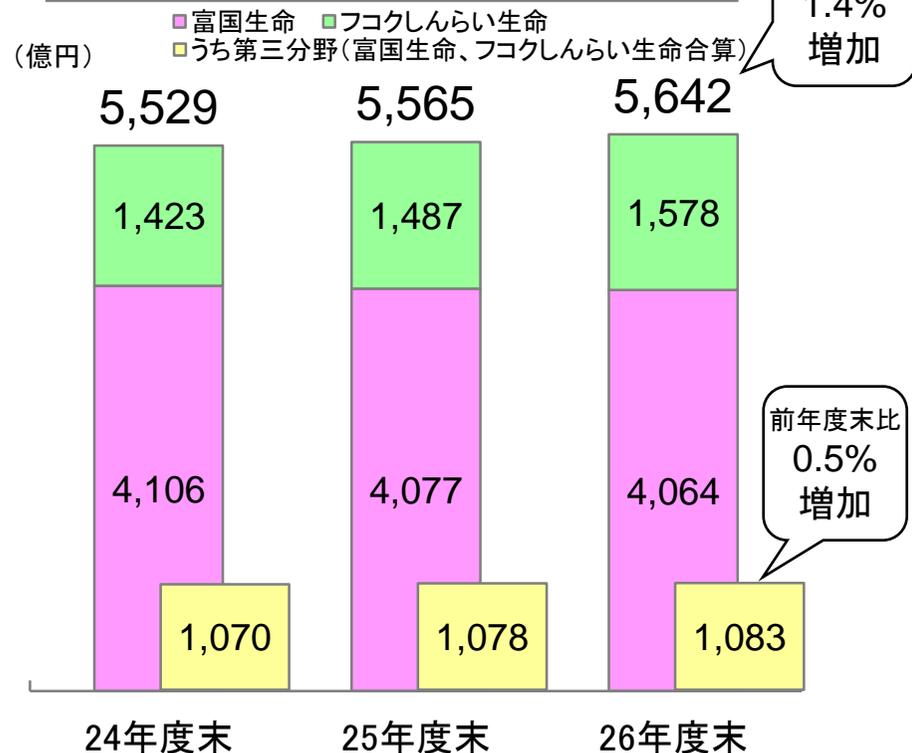
保険業績の状況(2社合算) ～保有契約～

保有契約高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 保有契約高の減少幅は縮小(2.2%→1.6%)
- 新契約高の増加および解約失効高の改善により、保有契約高の反転増加に向けて着実に進展

保有契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

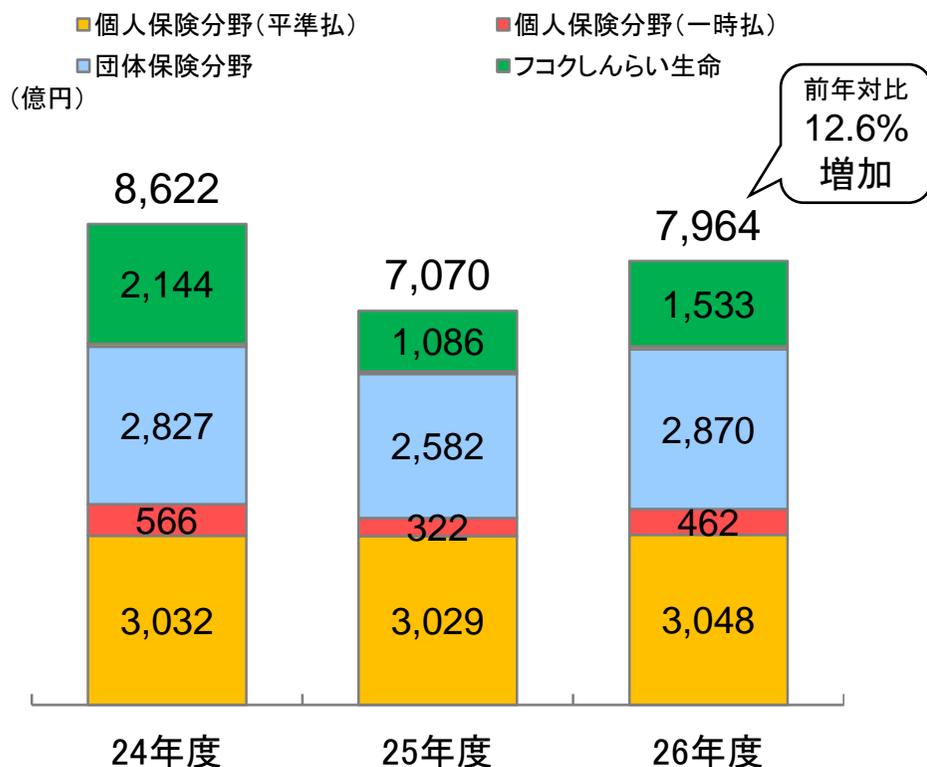


- 保有契約年換算保険料は、フコクしんらい生命が順調に増加し、前年度末比1.4%増加
- うち、第三分野の保有契約年換算保険料も前年度末比0.5%増加の1,083億円

保険料等収入の状況(2社合算)

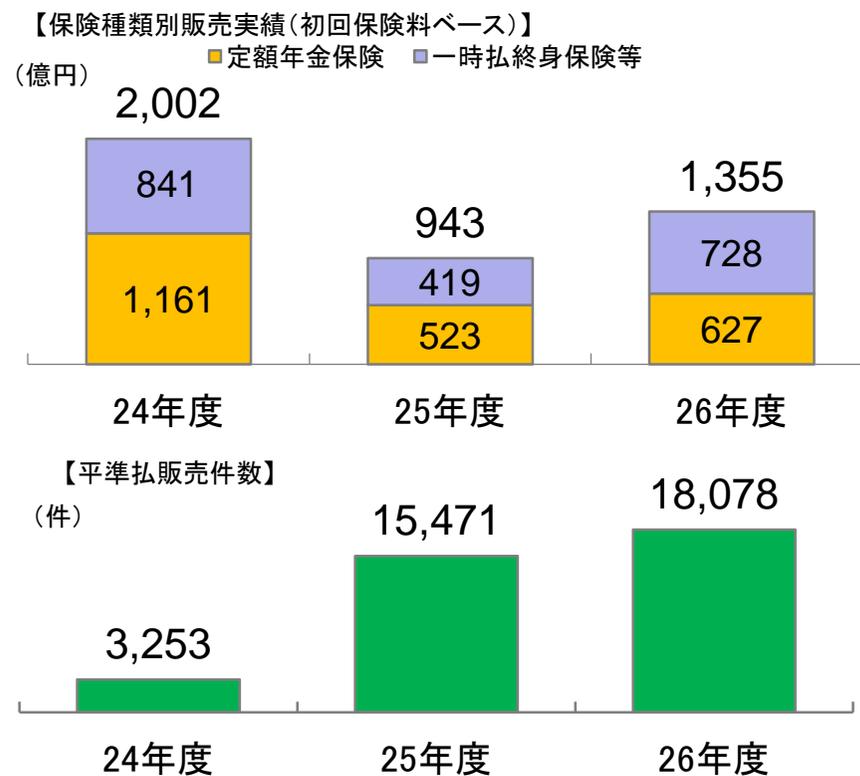
～保険料等収入・金融機関窓販～

保険料等収入の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 保険料等収入は前年対比12.6%増加
富国生命、フコクしんらい生命ともに増収
- 富国生命は、主力商品(未来のとびら)などの販売が堅調に推移したほか、団体保険分野も増加

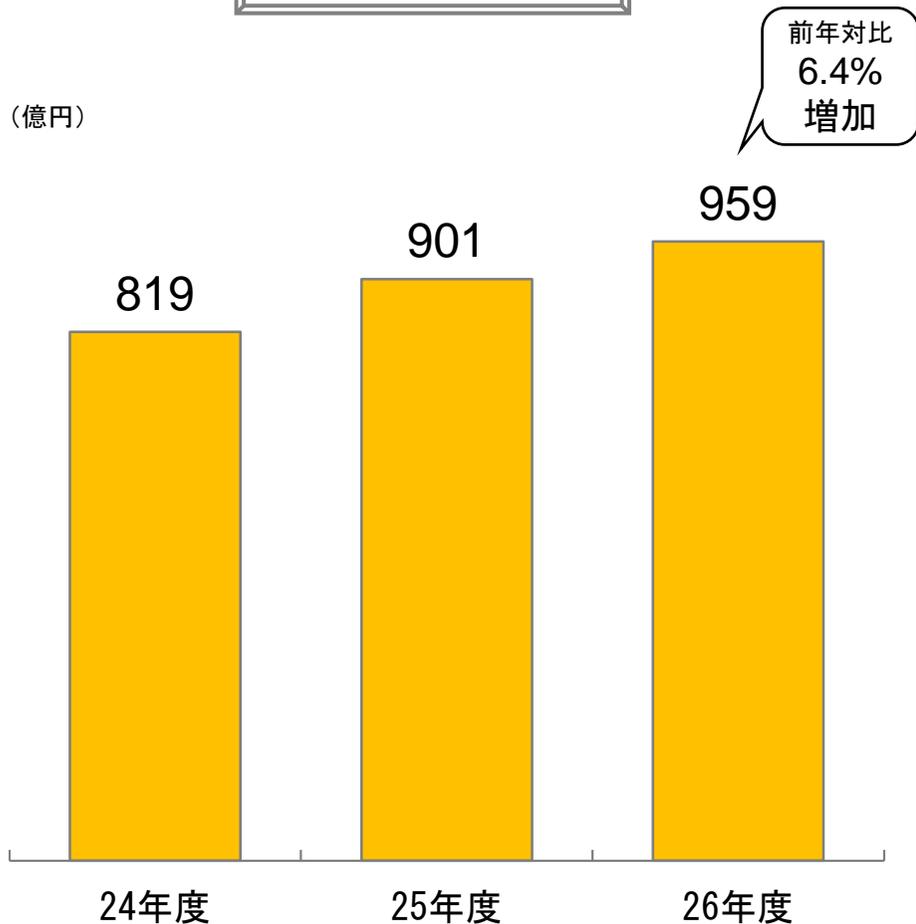
金融機関による保険販売の状況 (フコクしんらい生命の収入保険料)



- 平成25年度は予定利率の引き下げによる影響で減少したものの、相続税法改正に伴う一時払終身保険のニーズの高まりを背景に販売量は反転増加(上図)
- 商品ポートフォリオの多様化を図るため、平準払商品の拡販にも注力(下図)

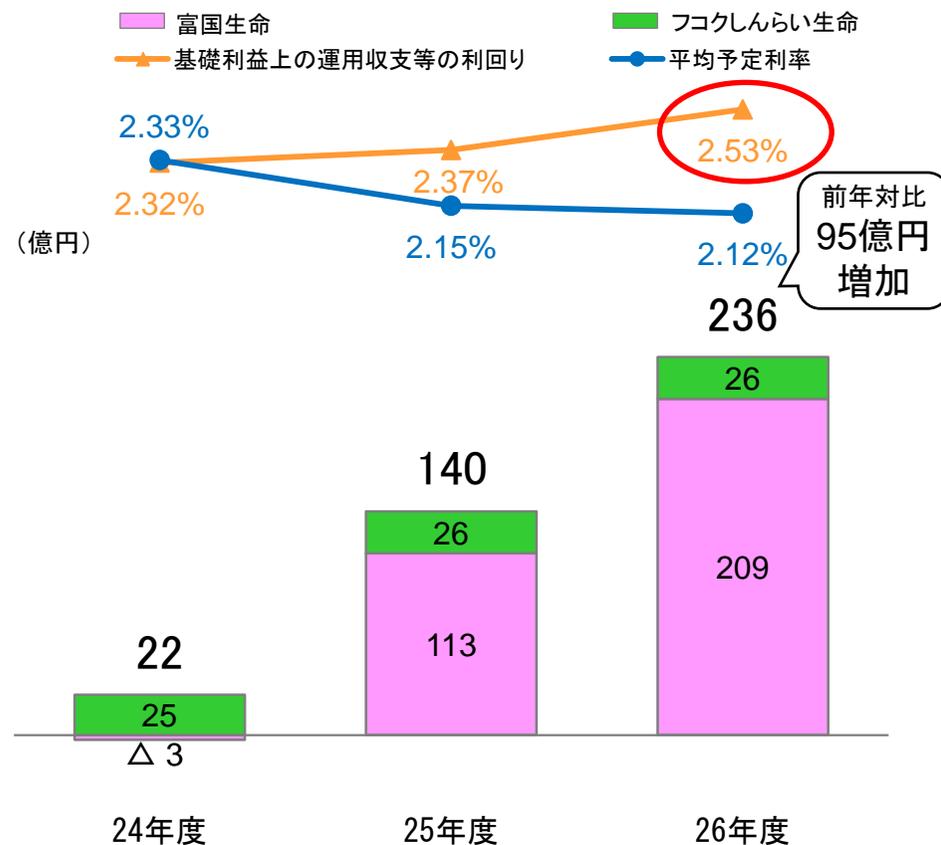
基礎利益の状況(2社合算)

基礎利益の推移



- 基礎利益は、富国生命の利差益が大幅に増加し、前年対比6.4%増加の959億円
- 開示以来最高

利差の推移



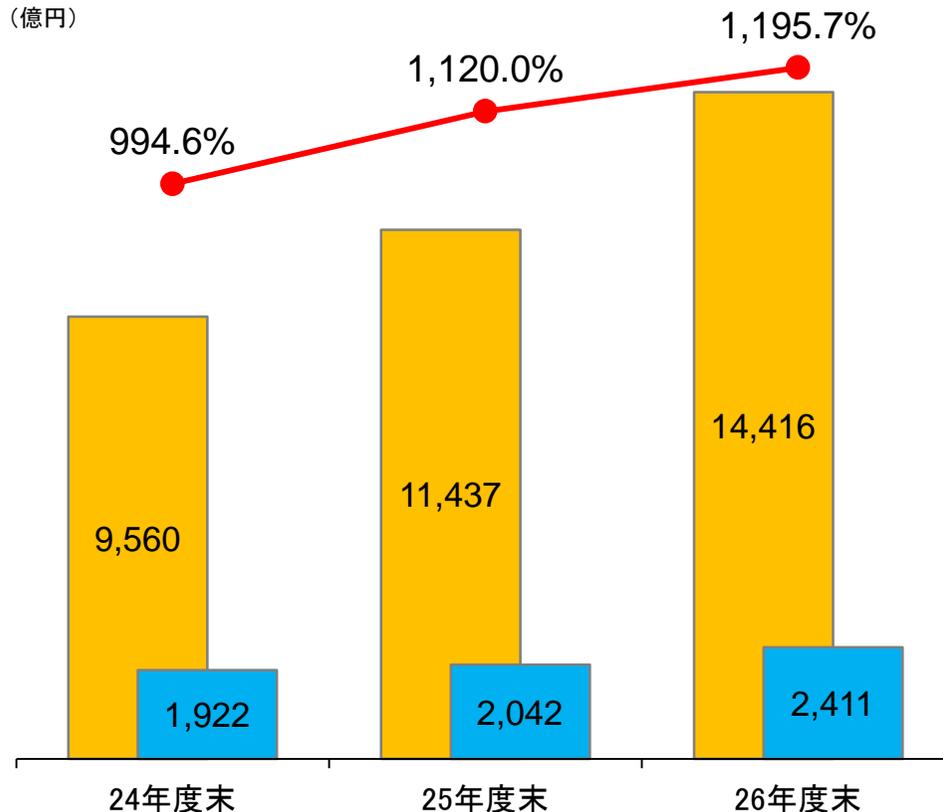
※基礎利益上の運用収支等の利回り、平均予定利率は富国生命単体

- 円高局面での外国公社債の積増しが、今期の円安傾向により奏功し、運用利回りは上昇
- 今後も、極端な円高への揺り戻しがなければ安定した利差益を確保できる見通し

健全性の状況

ソルベンシー・マージン比率の推移(連結)

■ ソルベンシー・マージン総額
 ■ リスクの合計額
 ● ソルベンシー・マージン比率
 (億円)



- 連結ソルベンシー・マージン比率は、平成23年度の開示以降、每期着実に伸展し、前年度末比75.7ポイント上昇の1,195.7%
- 事業年度末としては過去最高

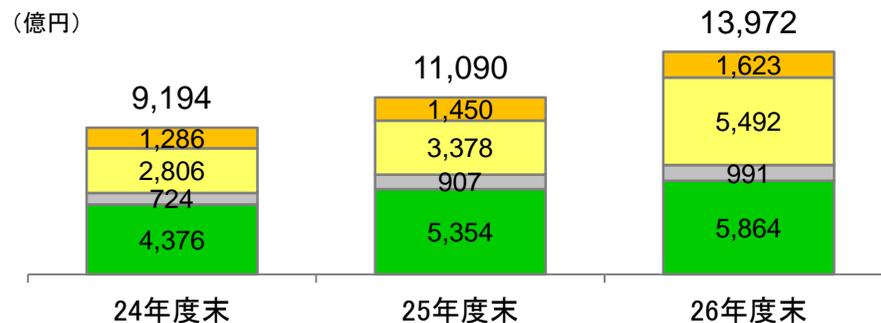
ソルベンシー・マージン比率の推移(単体)

■ソルベンシー・マージン比率

項目	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	970.8%	1,099.9%	1,169.3%

■ソルベンシー・マージン総額(A)

■ 自己資本
 ■ 土地の含み損益×85%
 ■ その他有価証券の評価差額×90%
 ■ その他
 (億円)



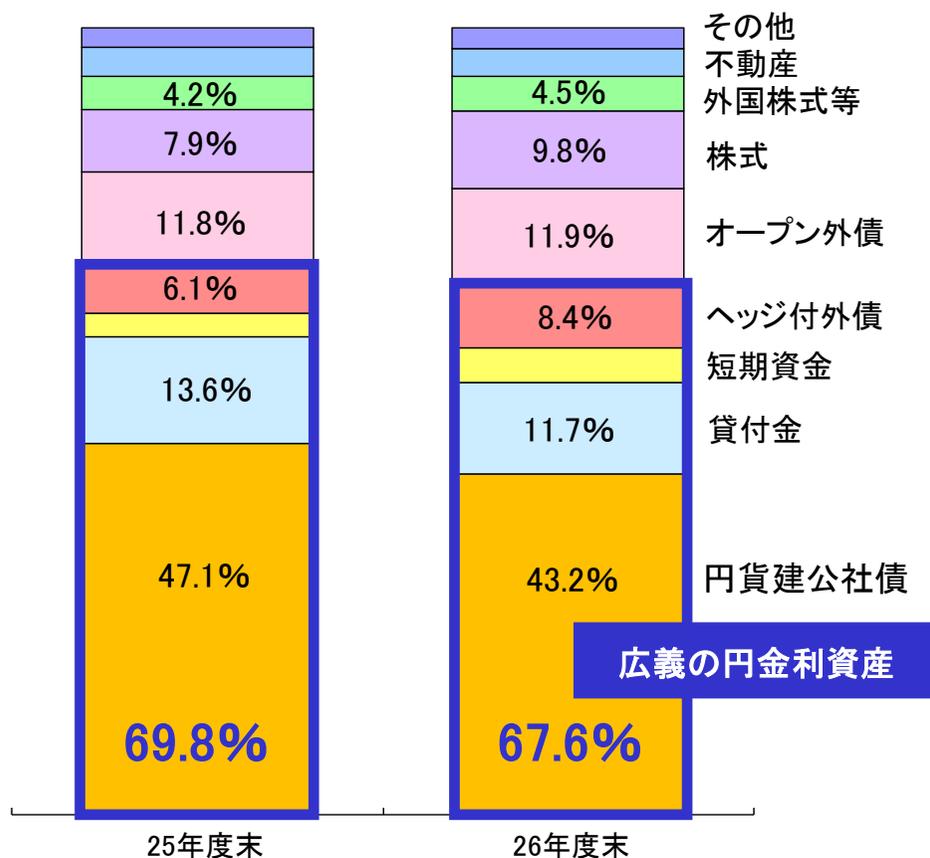
■リスクの合計額(B)
(億円)



- 富国生命単体のソルベンシー・マージン比率は危険準備金等の積増しやその他有価証券の評価差額の増加などにより、前年度末比69.4ポイント上昇の1,169.3%

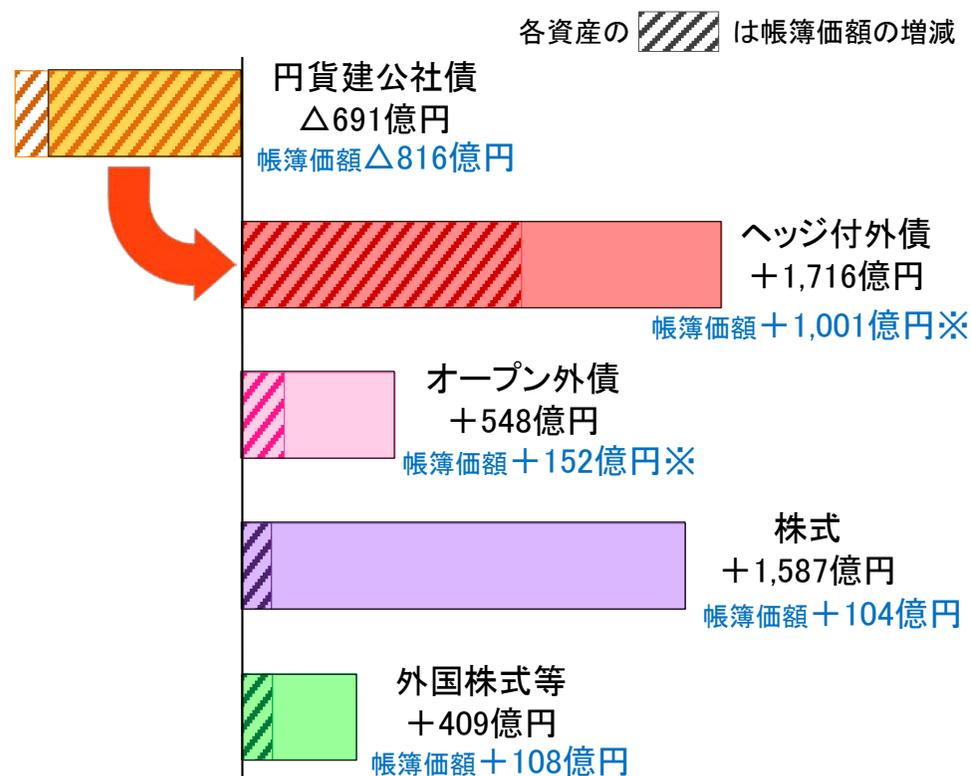
資産運用の概況

一般勘定資産の資産構成比(BSベース)



- ヘッジ付外債を含む廣義の円金利資産の構成比は、株式などの時価の上昇によりやや低下したものの、7割程度の水準を維持

有価証券の増減状況

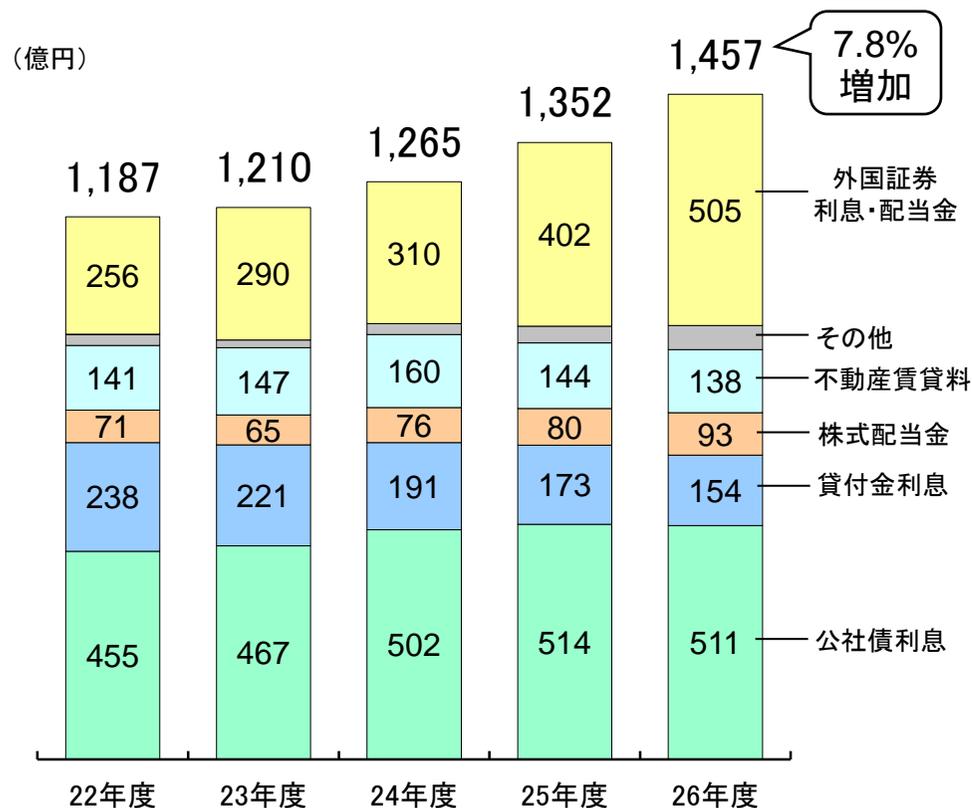


※ 損益計算書に計上した外貨建公社債の評価損益・為替換算損益を控除したものの

- 金利が極めて低位で推移したことを受けて、円貨建公社債への投資を控え、その代替としてヘッジ付外債を積み増し
- リスク許容度の向上を踏まえ、株式の安定的な積増しを再開(簿価で前年比104億円増)

資産運用の概況

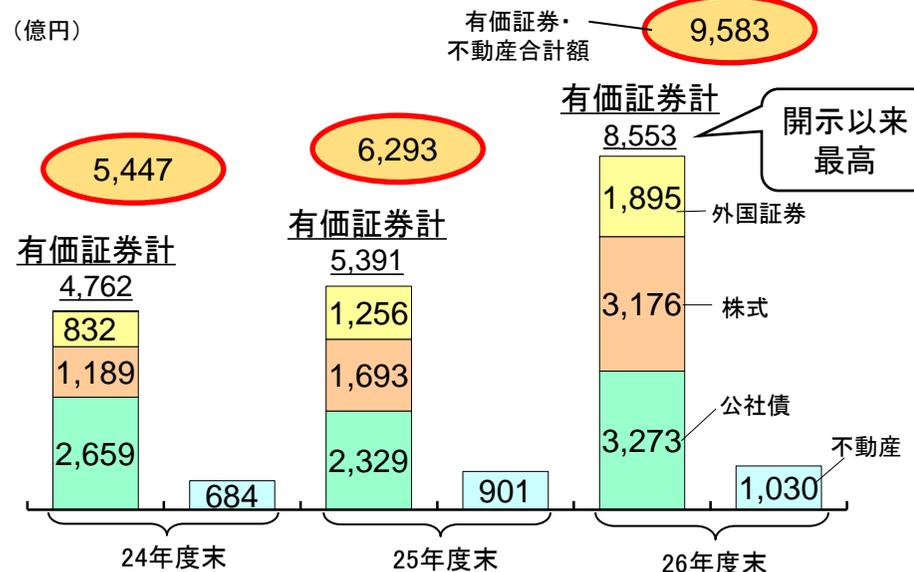
利息及び配当金等収入※の推移および内訳



※売買目的有価証券運用益(損)に含まれる利息及び配当金等収入を含む

- 利息及び配当金等収入は、円安効果により前年対比7.8%増加の1,457億円
- 円高局面で積極的に外貨建公社債を積み増したことなどにより、5年連続で増加

含み益の状況



資産の含み益がゼロになる水準

	平成25年度末	平成26年度末
国内株式(日経平均株価)	9,100円	8,900円
国内債券(10年国債利回り)	1.4%	1.5%
外国証券(ドル円)	80円	81円

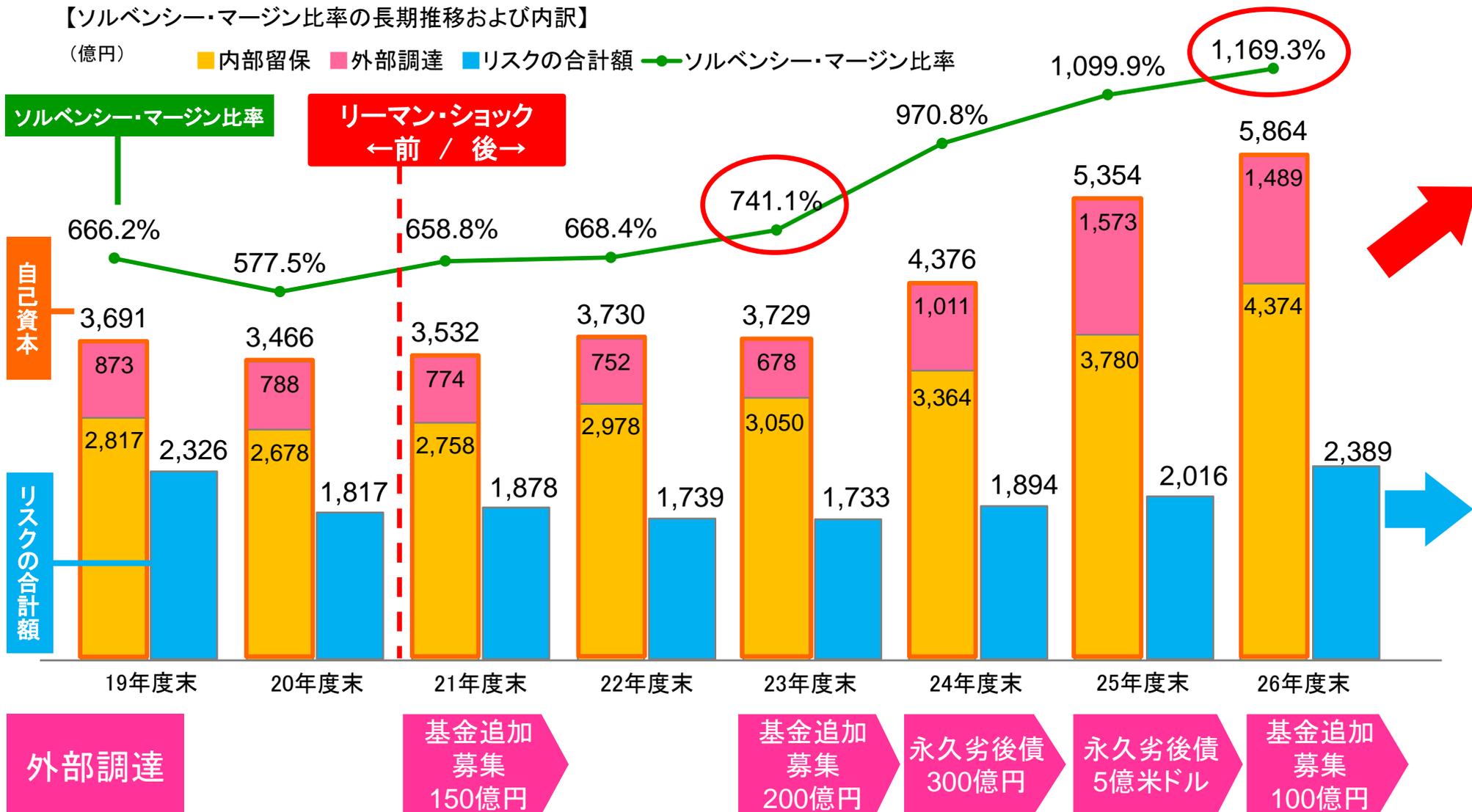
- 有価証券の含み益の合計額は、8,553億円と平成2年度の開示以来最高水準となり、不動産の含み益は1,000億円台を回復
- 相場のタイミングを捉えた新規投資や銘柄入替えによって、各資産の含み益がゼロになる水準は、良好な状態を維持

オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール(富国生命単体)

【ソルベンシー・マージン比率の長期推移および内訳】

(億円)

■ 内部留保 ■ 外部調達 ■ リスクの合計額 ● ソルベンシー・マージン比率



注)平成22年度以前のソルベンシー・マージン比率等は、現行基準を基に算出した参考数値

- 統合的リスク管理(ERM)を着実に推進
- 市場の動向に左右されない収益性と健全性の追求

平成26年度決算(案)に基づく社員配当金

■ 個人保険・個人年金保険

- 増配幅は16億円、有配当契約の約8割(約273万件)に配当金を割当て
- 3年連続の増配(※1)、3年合計の増配額は41億円
- 経過年数10年以下の契約を中心に危険差配当率と特別配当率を引き上げ
さらに、13年ぶりに満期契約に対する長期継続特別配当を実施

■ 団体年金保険

- 増配幅は20億円、3年連続の増配(※2)
- 利差配当率について0.1%の引き上げ

■ 配当還元の充実に向けて、社員配当平衡積立金に161億円積み増し、積み増し後の残高は200億円

(※1)個人保険・個人年金保険の増配額・・・平成24年度:6億円、平成25年度:19億円 (※2)団体年金保険の増配額・・・平成24年度:18億円、平成25年度:19億円

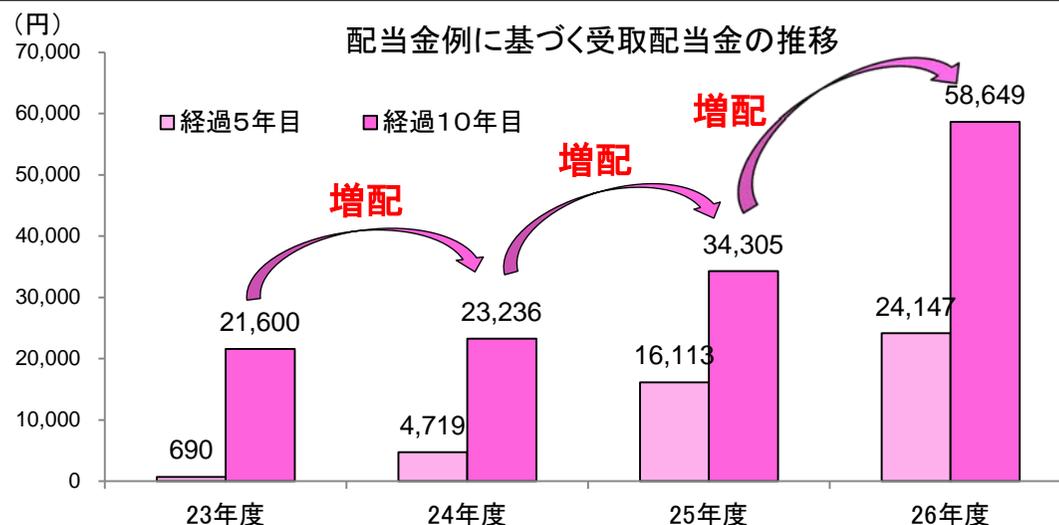
個人保険・個人年金保険の配当金例

<配当金例>

加入年度 (経過年数)	年換算保険料 (月払保険料)	受取配当金(案)	[増配額]
平成22年度(※3) (5年)	172,824円 (14,402円)	24,147円	[+ 7,216円]
平成17年度(※4) (10年)	194,232円 (16,186円)	58,649円	[+24,065円]

(※3)医療パック定期付新積立型介護保険(40歳加入、男性、口座振替月払契約、死亡保険金3,000万円、介護保険金50万円、入院日額6,000円)の例示

(※4)医療パック定期付新積立型介護保険(40歳加入、男性、口座振替月払契約、死亡保険金2,900万円、介護保険金100万円、入院日額6,000円)の例示



- 相互会社である当社は、お客さまの利益のための経営を創業以来行う
- 配当還元の充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減をさらに進める

(ご参考) 主要業績①

保有契約の状況(富国生命、フコクしんらい生命合算)

個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成25年度末		平成26年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	251,401	97.5	246,929	98.2
個人年金保険	42,970	99.3	42,817	99.6
保有契約高	294,372	97.8	289,746	98.4

新契約高、解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	16,893	114.5	16,995	100.6
個人年金保険	1,570	56.1	1,812	115.4
新契約高	18,464	105.2	18,807	101.9
解約失効高	16,130	96.9	15,137	93.8
(解約失効率)	(5.36%)	△ 0.02 ポイント	(5.14%)	△ 0.22 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成25年度末		平成26年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	3,041	100.2	3,075	101.1
個人年金保険	2,523	101.2	2,567	101.7
合計	5,565	100.6	5,642	101.4
うち医療保障・生前給付保障等	1,078	100.7	1,083	100.5

新契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	234	87.1	250	107.1
個人年金保険	100	56.1	115	115.4
合計	334	74.8	366	109.6
うち医療保障・生前給付保障等	76	88.0	71	93.3

企業保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成25年度末		平成26年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	170,452	101.1	171,159	100.4
団体年金保険	20,305	101.8	21,232	104.6

- ・新契約高(個人保険+個人年金保険)は前年対比1.9%増加
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比1.4%増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比0.5%増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年対比9.6%増加

(ご参考) 主要業績②

保有契約の状況(富国生命単体)

個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成25年度末		平成26年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	242,084	97.3	236,846	97.8
個人年金保険	29,487	97.2	28,718	97.4
保有契約高	271,572	97.3	265,564	97.8

新契約高、解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	15,969	118.8	15,649	98.0
個人年金保険	565	37.2	724	128.3
新契約高	16,534	110.5	16,374	99.0
解約失効高	15,414	95.9	14,399	93.4
(解約失効率)	(5.52%)	△ 0.03 ポイント	(5.30%)	△ 0.22 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成25年度末		平成26年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	2,750	99.3	2,736	99.5
個人年金保険	1,326	99.3	1,327	100.0
合計	4,077	99.3	4,064	99.7
うち医療保障・生前給付保障等	1,061	100.8	1,066	100.5

新契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	198	95.3	192	96.9
個人年金保険	24	41.5	31	128.1
合計	223	83.3	224	100.4
うち医療保障・生前給付保障等	75	88.2	70	93.2

企業保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成25年度末		平成26年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	165,468	101.0	166,780	100.8
団体年金保険	20,305	101.8	21,232	104.6

- ・新契約高(個人保険+個人年金保険)は前年対比1.0%減少
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比0.3%減少、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比0.5%増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年対比0.4%増加

(ご参考) 主要業績③

収支の状況

保険関係収支

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	7,070	82.0	7,964	112.6
うち個人保険分野	4,425	77.3	5,031	113.7
うち団体保険分野	2,594	91.4	2,882	111.1

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	5,983	92.4	6,431	107.5
うち個人保険分野	3,352	93.2	3,510	104.7
うち団体保険分野	2,582	91.3	2,870	111.1
保険金等支払金	5,037	96.8	4,903	97.3

(注) 保険料等収入の個人保険分野は個人保険と個人年金保険、団体保険分野は団体保険と団体年金保険の合計額を、それぞれ記載しています。

【金融機関による保険販売の状況】(フコクしんらい生命実績) (単位: 件、億円、%)

	平成25年度		平成26年度	
		前年度比		前年度比
新契約件数	42,387	71.2	52,465	123.8
保険料※	943	47.1	1,355	143.6

※平準払契約については初回保険料の合計額を記載

資産運用関係収支

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

		平成25年度		平成26年度	
			前年度比		前年度比
一般勘定	資産運用収益	1,826	108.2	2,018	110.5
	うち利息及び配当金等収入	1,265	106.3	1,367	108.0
	資産運用費用	500	83.8	357	71.4
	資産運用関係収支	1,326	121.6	1,661	125.3
特別勘定資産運用損益		104	103.4	118	113.9

基礎利益

(富国生命単体) (単位: 億円)

	平成25年度	平成26年度
基礎利益 A	865	931
費差	7	△23
危険差	743	745
利差	113	209
キャピタル損益 B	124	358
臨時損益 C	△271	△321
経常利益 A+B+C	719	968

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円)

	平成25年度	平成26年度
基礎利益	901	959

(ご参考) 主要業績④

資産・健全性の状況

資産の構成

(富国生命単体)

(単位: 億円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
		占率		占率
総 資 産	62,147		66,119	
うち一般勘定資産	61,334	100.0	65,302	100.0
うち 公 社 債	28,761	46.9	28,561	43.7
うち 株 式	4,823	7.9	6,410	9.8
うち 外国証券	13,653	22.3	15,837	24.3
うち 貸 付 金	8,358	13.6	7,639	11.7

含み損益の状況(一般勘定)

(富国生命単体)

(単位: 億円)

区 分	平成25年度末	平成26年度末
	差 損 益	差 損 益
有 価 証 券 合 計	5,391	8,553
うち 公 社 債	2,329	3,273
うち 株 式	1,693	3,176
うち 外国証券	1,256	1,895
不 動 産 (土地・借地権)	901	1,030
合 計	6,293	9,583

健全性を示す指標

(富国生命単体)

(単位: 億円)

項 目	平成25年度末	平成26年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	11,090	13,972
リスクの合計額 (B)	2,016	2,389
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,099.9%	1,169.3%

(単位: 億円)

	平成25年度末	平成26年度末
実 質 純 資 産 額	12,114	16,072
対一般勘定資産比率	19.8%	24.6%

(連結ベース)

(単位: 億円)

項 目	平成25年度末	平成26年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	11,437	14,416
リスクの合計額 (B)	2,042	2,411
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,120.0%	1,195.7%

(単位: 億円)

	平成25年度末	平成26年度末
実 質 純 資 産 額	13,218	17,691